

天文学とプラネタリウム

第36回



今月のお題

天プラ ハワイツアー



水面下で企画されていた天プラハワイツアーが決行されました。
今回は高梨+4人(♀)の愉快的仲間達の珍道中をお届け。



www.tenpla.net

高梨直紘 (東大D2/天文学教育研究センター所属)

平松正顕 (東大D2/国立天文台ALMA推進室所属)

2/26から3/5まで、天プラハワイツアーと銘打ってハワイ島へ行ってきました。現地に住む日本の研究者のお宅にホームステイし、すばる望遠鏡の見学やアウトリーチ研修を行いつつ、あわよくば海外にも天プラ製天文グッズの売り込みをしてみようという目論見です。今回はツアーメンバーである百瀬さん、金安さんの二人がこのツアーの様子を報告します。

観光？研修？

まず『アウトリーチ研修』について紹介します。小学校と幼稚園で行われた天文学のレクチャーを見に行きました。紙芝居を使ったり、ゲームをしたりして小さい子供たちにも天文学をわかりやすく、楽しく伝えていてとても勉強になりました。じっと静かに話をきく子供たちがとても印象的でした。幼稚園ではお礼にマウナケアの歌を歌ってくれました。

次に『すばる望遠鏡の見学』です。すばる望遠鏡があるマウナケアは標高4200mで、富士山よりもたかいです。なので、高山病に気をつけな

ければなりません。山頂に登る前はずはレポハクというところで休憩して体をならします。私たちが1時間程お昼を食べたり休憩してから山頂に上がりました。でも、心配は何のその、みんな元気でした。8mの鏡を持つすばる望遠鏡はとても大きかったです。前日に雪が降り、ドームの周りには雪が積もっていました。観測室にはサイン帳があります。小柴昌俊さんのサインなど必見です。私たちがぼつちり書いてきました！

最後に『グッズの売り込み』です。ATPも土星アメもなかなか好評でした。しかし、マーケティングの難しさや税金、送料をどうするか、など課題は山積みです。

また、このツアー中に三鷹四小のアストロクラブを、スカイプで繋いで行いました。海外とリアルタイムで繋ぐのは初の試みでしたが、時差を直に感じてもらえたり成功したと思います。一番盛り上がったのは、スカイプを通したじゃんけんだったかもしれません…(笑)

他にも色々体験をしてきました。単なる旅行では味わえないような実に濃いツアーでした。次の天プラツアーはどこに行きましょうか？



いざゆかん、すばる望遠鏡見学。若干一名ノリの悪い人がいます。



左はワイピオ溪谷、右はブラックサンドビーチです。
…ちゃんと真面目に研修や発表もしてきましたよ？